

道標ない旅269

“269”とは南郷中の全校生徒数です

平成31年1月24日(第28号)

校長 益田 孝彦 875-9494

◆◆ 平成30年度税の作文コンクールで受賞!! ◆◆

見事「教育長賞」を受賞したのは、
3年B組 〇〇さん。
作品のタイトル 「ふるさと納税」と思いやり

はやりの「ふるさと納税」ですが、その実、今一歩分
からないところもあるので、思いやりとどう繋がって
いくのか、是非読んでみたい作品です。

表彰式は1月11日(金)本校校長室にて、教育長様
や納税課長様がご来校なさり、行われました。



◆◆ 葉山町の成人式に出席してきました。落ち着いた、良い式でした。 ◆◆



式の挨拶で、山梨町長様が、実行委員の要望に
応え、308人の成人を迎えた若者に、葉山町の良
いところを紹介された話が、葉山町の良さを上手に伝
えていたので、その一節を紹介します。
(言い回しが不正確でもご容赦ください)

「葉山の良いところを是非スピーチしてほしい
とのことでしたが、葉山町にお世話になったの
で恩返しがしたいと言って実行委員になってく

れた若い人たちがいる。何よりもそのことがすばらしい。本当に本当に嬉しかったです。
結論から言えば葉山の1番素晴らしいところは、この葉山に住む人だと思っています。
葉山町の人口は33,000人の町です。街の70%が市街化調整区域と言って、山や木や多くの
自然に囲まれた町です。この小さな町が、県内で1番のことがいくつかあります。葉山町
は県内で1番健康な町です。お医者さんにかからない健康な人が多い町なのです。また犯
罪の発生率が最も低い町です。県内で最も治安がいいのです。そして、今鎌倉と1・2
位を争っているのが、ゴミのリサイクル率(45%)です。

このように数字から見ても葉山町の凄さは感じますが、それでもやはり葉山町の最も
良いところは人だと思っています。去年を振り返ってみただけでも、ヨットのインターハイ
で優勝した人がいます。空手の全日本で優勝した人もいます。年の初めにはラフティン
グと言うスポーツで世界一になった人もいました。1年前には、今日の司会者の妹さん
が、デフリンピックというバレーボールの世界大会で優勝して、そこでMVPに選ばれまし
た。33,000人しかない小さな街から日本一になったり世界一になったりする人が出た
のです。去年は奥谷博さんという文化勲章受賞した人も出ました。いろいろな人が活躍し
ているそれがこの町の凄いところだと思います。

なんでこんなにすごい人達がいるんでしょうか。それはこの葉山町の自然が、人を育
めたのではないのでしょうか。葉山の海は西向きの海岸です。南北に山が連なり、夏の暑
い南風は横に通り返り、蒸し暑さがなく、山に囲まれた温暖な気候を感じる事ができ
ます。だからこそ多分125年前この場所に別荘を立てようという考えが生まれたのだと
思います。日本のあらゆる場所からこの場所が選ばれ、御用邸が立てられたんだと思
います。

葉山の町の凄さ、葉山の町の良さを感じて頂けたでしょうか。沢山の人が、この町が
好きでこの町を愛し、過ごしてる。それが昔から受け継がれて、続いているのだと思
います。もしかしたら、この町に住むことの良さが、当たり前になってしまっている人た
ちがいるかもしれません。その気持ちを見つめ直すため、一度東京に出て、地方に出て、
海外に出て、この町の素晴らしさをぜひ感じてみてほしいと思います。そして改めてこ
の町に帰ってきて、家族を持って過ごしてほしいと思います。」

お話の一部を紹介しているので、町長が話されたこと全てを表現してはいませんが、
葉山町の良さを感ずることは十分出来るはずですよ。このスピーチは新成人に大きなプ
ライドを抱かせたように感じました。落ち着いた素敵な成人式でした。

◆◆ 新入生保護者説明会を実施しました。 ◆◆



88名の保護者の方をお迎えして、新入生保護者説明会を開かせて頂きました。早めに来校された方は、校内で展開される授業風景も覗いて頂きました。

2学年は、3クラスとも班編制の学活でしたが学年の様子

は感じて頂けたことと思います。私自身は1 A で展開されていた国語の意見文発表会が大変興味を引きました。

さて、1時からの説明会では、保護者の方々にお配りした「入学のしおり」を熟読頂ければ、分かって頂けることかもしれませんが、要点を捉えた説明を聞いて頂き、より鮮明に内容理解して頂けるものと考え、プレゼンでの説明を行いました。この時期に買い急ぐかもしれないスマホ等に、どう接していけばいいのか、この時代どんな点に注意したら良いのか、分かって頂けたのではと思っています。新入生が不安なく、夢膨らませて入学してくれるといいなと心から願いました。

◆◆ 「社会を明るくする運動」作文コンテスト において表彰者が出ました。 ◆◆

逗子・葉山地区の代表作品に選ばれたのは、3年の 君 「いじめ」のない世界へ
表彰式は、卒業式が終わったあとの、2019年7月19日(金) 葉山町福祉文化会館なので、全校集会にて表彰する機会がありません。この場をもって、その栄誉をたたえたいと思います。

作品の中で、「緊張してしまうので、人の目を見て話すのが苦手だけど、高校生になる前に自分を変えて、しっかり人の目を見て話をしたい。そして、もっと周りのことにも気をかけて、『いじめ』にあっている人はいないか、自分は相手を傷つけていないかを気にしていきたい。」と語っています。作品を通して、私自身も「いじめ」にしっかりアンテナを張って、周りのことを気にかけて、安心して過ごせる学校を作っていかなければと思いました。

◆◆ 下校時間が変わりました。これから2月17日までは、17時最終下校となります。 ◆◆

1月20日から、下校時間が変わりました。21日、5時頃出張で車を走らせていて感じたのは、ずいぶん明るくなってきたなということです。22日の日没時間を調べてみると、東京で16時59分でした。太陽の光(明るさ)について言えば、春はすぐそこまでやってきている感じです。明るくなってきていることを一番実感しているのは南郷中の生徒たちでしょう。

ただあいにくと、光の加減は春めいてきても、空気や地面が温まってくるのにはまだ時間が必要です。この時期は大寒といって最も寒い時期です。暖かい日差しを何度も何度も受けている内に、気温も遅ればせながら上がっていくことでしょう。今はまだ寒さ対策が重要です。3年生の受験の結果も含めて、本当の春がやってくることを楽しみに待ちましょう。

ちなみに、2月18日(月)以降は下校時間は一気に5時半まで延び、4月からは6時となります。



晴雨予報グラス…なかなかかわいいアイテムです

校長室にある晴雨予報グラス、22日の様子は写真の通り、グラス内の液体(食紅で緑に染めた普通の水)が、象の鼻の様な管にあふれんばかりに(鼻の長さ15cmくらい)出てきています。違う日には、緑の水は球体内の水面より遙かに低いところまで(鼻の長さ2cmくらいまで)押し込まれている日もあります。

これは、低気圧や高気圧の接近に伴い、律儀に鼻の長さを変えてそのことを教えてくれる予報グラスなのです。では、22日の本日は低気圧・高気圧のどちらが関東地方に接近した日だったのでしょうか? 球体の中に閉じ込めた空気の圧力と、外の空気の圧力(大気圧)との押し合う力の差で、鼻の部分が上下するとお伝えすればもうおわかりでしょうか?

このことも自分の言葉で論理的に説明(伝えることが)出来る力、それがこの先求められていく力です。